

## 阪南市行財政構造改革プラン改訂版（骨子案）の策定にあたって

市民の皆様には、平素より市政運営・まちづくりに、ご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。また、コロナ対策へのご努力により、感染が縮小していることに感謝申し上げます。

さて、本市では、「誰も一人ぼっちにしない、誰も排除しないまち」を目指し、住民自治を展望する公民協働のまちづくりを推進し、自立するしなやかで活力と優しさあふれるまちづくりに取り組んでいます。

しかし、その実現には、市の財政が健全で安定することが必要です。平成30年度に『行財政構造改革プラン』を策定し、行財政構造を抜本的に改革すべく、5年先を見た施策・事業の「選択と集中」を行い、経営効率の改善を目指す取組を、全庁的に進めてきました。

その結果、現状の改革プランでは17億円もの効果（成果）を上げるものの、8年連続、決算での基金取り崩しが続いています。

今後、大幅な人口減少などにより、将来的に財源不足等の深刻化を想定し、国・府の協力を得ながら、15年先を見通した財政シミュレーションを策定しました。

このままでは財政再生団体への転落も危惧され、今、この時期を逃すと、本市の財政を立て直すことが極めて難しくなると判断し、本年2月に「財政非常事態」宣言を発出しました。

このような事態から一刻も早く脱却し、持続可能な行財政運営を確立するため、プランの改訂に取り組んでいます。

現行プランでの取組の方向性を柱とし、歳入の確保、人件費の抑制、公共施設の統廃合に重点を置くと共に、新たな取組を創るなど、その目標や効果額をあらゆる角度から見直しを行い、短期に加え、中・長期的な視点を取り入れ、計画的に取り組むべき施策などを反映させ、持続可能な行財政運営を確立します。

市民の皆様の暮らしに直接影響がでる施策にも、取り組まざるを得ません。

市民の皆様には、あらゆる機会を通してご意見をお伺いしながら、市役所が一丸となり取り組んでまいりますので、何卒、市政運営にご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和3年6月

阪南市長 水野 謙二